

M-10 毛無山(1,945m)

【山行日】2021年5月16日

【CL】2327 【参加者】2131 2140 3199 3277 3507

【コース】(前泊：富士宮市内) 5:30 麓車止口・登山開始…6:05 比丘尼の滝…8:00 地蔵峠…10:00 毛無山山頂・昼食 10:15…12:50 不動の滝…13:30 麓車止口着

「毛無山」、何とも愛嬌のあるその名前が印象的であり、眼前に雄大な富士山を眺める事が出来る山とあって、以前から一度トライしたいと思っていた。また、全国に20座以上ある「毛無山」の最高峰で標高が1,945mあり、結構登り甲斐のある山でもあるらしい。

天候の崩れが予想されたので、予定より1時間早めて出発した。途中の車窓から、やや少な目を感じられる冠雪が残る富士山を眺めることができた。麓集落から沢沿いに進む地蔵峠から登り、尾根コースで下山するコースを取ることにした。

登山道に入って15分程緩やかな山道を行くと、下山ルートとの分岐点に出た。そこに、地蔵峠ルートは増水時水量が増し危険である事を伝える看板があり、緊張感が増した。

2~3回徒渉を繰り返しやや急峻な登りを経て、30分程で「比丘尼の滝」に到着した。「比丘尼」の言葉の響きに歴史的な趣を感じながら、落差20m位を数段に渡って流れ落ちる滝にほっと一息付くことができた。



その後は、地蔵峠までの急峻な山道を小休憩1~2回を挟んで一気に高度を上げていった。鎖やロープを掴みながら岩場を登ったり、谷側が切れ落ちたガレ場を通過したりと、緊張する場面の連続だった。何とか2時間程で峠に到着した。その頃には雨が降り出していたので、レインウェアやザックカバーを付けて準備を整えた。

残りの高度は300m弱、登りが40分位続いた。しかし、稜線に出ると緩やかな山道となり、今までの疲れを癒やすようにのんびりと歩くことができた。途中に、“南”だか“北”だかはっきりしないアルプス展望台があった。悪天候の為その真意を確かめることは出来なかった。

そうこうしているうちに、思いの外早くに山頂に到着した。山頂付近には、まだ花を付けていない「コバイケイソウ」や「マルバタケフキ」の若葉が澄んだ綺麗な緑色で、私たちに喜ばせてくれた。雲の向こうに裾野を広げた富士山の姿を想像して、下山への道を急いだ。

尾根ルートも大きな段差や木の根の張り出しで登りルート以上に難所の連続だった。一合目ごとに付けられている標識で残りの行程を確認しながら進み、辛さを紛らすことができた。途中、満開の「アカヤシオ」が出迎えてくれ、今日の山行の褒美のように感じられた。

変化に富んだ魅力ある山行に参加できたことを、CLや同行の仲間感謝しながら、帰路に着いた。(3507)

